

# 2018年 35年目の仲間たち



はぐるま

猛暑・酷暑今年の夏の代名詞になりそうな、厳しい夏到来。生活の至る所で、注意が必要と感じます。

さて はぐるまは

昭和58年創立なので、今年は35年目となります。創立25年目には、地域の方・行政関係・川崎市議をお招きして盛大に祝いました。その際発行した「25周年記念誌」は創立者達の功績をまとめたものでした。それは今も尚、仲間達・職員達の活動の指針となっています。

さて今年も節目として25年から10年分の活動資料集を追加しました。分析が不十分な点は、来る40周年への課題としておきます。

## 仲間評価式

6月15日仲間評価式が行われました。今年

「十数年の販売活動で得た力」を

No.105

2018年7月13日

社会福祉法人  
はぐるまの会

広報委員会

川崎市多摩区  
菅馬場1-18-17  
TEL 044-946-1308

分析し、仲間達の生活の中でどのように発揮されているかを仲間自治会と調べました。結果5つの力がついていることが分かりました。個々の出来栄えについて、次のような表彰がされましたので、その一部を紹介します。

◎移動力が付きました部門

移動連帯賞

あなたは迷子にならず、仲間と一緒に動けるようになりました。これは大変立派なことです。

◎社会ルールが守れる部門

席をゆずることができるで賞

あなたは電車の中で困った人に席を譲ることができます。これは大変立派なことです。

◎話す力が付きました部門

あいさつ笑顔一番で賞

あなたはお客様に笑顔であいさつができて一生懸命相手に伝えようと話をします。これは大変立派なことです。

◎計算する力 が付いた部門

計算が得意で賞

あなたは在庫の計算ができるようになり  
ました。これは大変立派なことです。

◎体力と強い気持ちが付いた部門

販売体力が付いたで賞

あなたは販売で歩き続ける強い体力と、気  
持ちがあります。これは大変立派なことす

このように仲間たちは大変重要な力を獲得  
してきました。これからも様々な場面で力を  
活かし、販売を頑張りますと、自治会長の長  
原さんが宣言しました。

毎週1回、町に出て、自分たちで作った製  
品を売りに行く活動を30年間続けてきた中  
で、たくさんのお得意様・理解者の方との出  
会いがありました。その方たちが、支えてく  
ださっていることは仲間にとって、大きな財  
産となっていますし、今も尚続いているのは、  
仲間達を待っていてくれる方たちの、おかげ  
です。

今回資料集に掲載させていただいたお得意  
様の一部を紹介いたします。

数十年にわたってのご協力  
ありがとうございます



川崎区 ときわ 様



小金井市 大黒屋 様



八王子市 吉村クリーニング 様



世田谷区奥沢 北原美容室 様



足浴・(阿田川看護師 写真右)

## フットケア (足のお手入れ) について

秋の登山、毎年2月に実施するマラソン大会。はぐるまには日々の体力づくりに加え、「足」をつかう大きな行事があります。行事の前には特に足の状態をチェックし、必要時には受診するなどの対応をしてきました。

しかし、特に爪は病院で処置してもらおうことが難しく、対処法に悩んでおりました。そんな中、“花ハウス”がご縁で、昨年の秋からフットケア専門の資格を持つていらつしやる「阿田川看護師」さんに、少しずつ仲間の足のケアをお願いできるようになりました。

フットケアはまず、多くの場合「足浴」(写真)から始まります。足浴は足がきれいになるだけでなく、血行も良くなり、固い角質も柔らかくなります。その後、角質の除去・タコ削り・爪切りを“グライNDER”という専用の器具で行っていきます。

親指の爪がとても厚くなってしまった仲間がいました。ケアの後、平に薄くなった爪を見てとても嬉しそうに声を上げて笑っていたのが印象的でした。

足は体を支える大切なところです。

足に不調があると、歩き方や姿勢にも影響することがあります。また、場合によっては精神的な負担になることもあります。

今後も阿田川看護師さんにお力をいただいて、私達もご指導いただいたことを活かしていきたいと思えます。

仲間が日々健康で快適に過ごせるように、この貴重なご縁を大切にしていきたいと思えます。

看護師 水谷 記

## 仲間自治会情報・登山の計画進行中

山の季節が来ました。今年の実行委員長は入所4年目の若手高田寧帆(たかだなほ)さんが立候補・これから頑張ります。



いとがんのじょうしゅう  
いんちょう  
せきにんもって  
がばんばります

登山実施日 30年9月11日〜13日  
場所 長野県 硫黄岳方面  
宿泊 赤岳山荘・やまのこ村山荘

八峯園

35年の歴史を持つはぐるま登山合宿は「富士山」「天狗岳」「硫黄岳」「編笠山」「蓼科山」と2500m以上の山を制覇してきました。他にも「大山」「石老山」



「大菩薩峠」と多彩な山にも登ってきました。この活動は、準備に要する期間と、終わってからのまとめの学習と、4か月間の長期的な取り組みとなり、毎日の生産活動と同時進行となりますので、1年の中で最も過密スケジュールな期間となります。

ここ数年実施について、賛否両論の議論がなされてきました。背景には、仲間・職員の高齢化・頻繁に起こる異常気象への対応等があります。それら全てに、対応できるように、実施に向けて準備を進めています。

はぐるまの伝統ある活動を、変わりゆく時代に合わせて、どの様に継続していくか今年の取り組み後の課題となっています。

### 第3回 仲間実行委員会・グループ決め会議

山の難易度によって、コース別に5人位のグループを作ります。仲間の技能力・体力などを分析しながらの作業で、よく仲間の特性を理解しているなあと感心します。

ご寄付をありがとうございます！

## 赤い羽根共同募金会

はぐるま共同作業所

猛暑に備え、エアコン2基を新調！



近年の猛暑日は、仲間たちの日常生活において脅威となっており、今日はいよいよ33・明日は35℃まで・・・と、天気予報で発表をされる数字は目を疑うほどです。この度、老朽化が進んでいた、はぐるま共同作業所のエアコン2基を三菱電機さんのご支援により、新調することができました。暑い夏本番を迎えますので、利用者の体調管理に役立たせていただきます。ありがとうございます。

### 編集後記

この度の西日本を中心とした大雨災害の被害にあわれました皆様へ心より

お見舞い申し上げます。

2011年の東日本大震災で、30年余りお付き合いをしてきた三陸の青山商店さんが、津波の被害にあわれ、わが身のごとく心を痛め、災害の怖さを間接的ではありましたが知った7年前。繰り返し返される災害に遠くから心を寄せるしかできませんが、私たちが出来ることはしていると思います。

現在、きょうされん本部が中心となり、各支部会員及び関係者から情報を収集しておりますので、はぐるまの会としても、できる限り支援活動に協力をしてまいります。

6月に発生をした大阪北部を震源とした震度6弱の地震に続き、今回の大雨による被害等…自然豊かな島国に暮らす私たちにとって、避けることの難しい自然災害に対して、日頃からの備えは充分過ぎるということはないのだと痛感をしています。私たちの暮らす川崎も高い確率で発生が予測されている大地震やこれまで水害を繰り返してきた多摩川のひとつにありませぬので、はぐるまの会として、より安全性の高い施設への建て替えや防災設備等、職員だけではなく、利用者・ご家族、関係者全員が協力をして災害に備えていきたいと思っております。